

県連通信

■第36号■ (2010年9月作成)

発行：青森県生活協同組合連合会

住所：〒038-0012

青森県青森市柳川2丁目4-22

連絡：Tel：017-766-1521

Fax：017-766-3136

県連
報告

●協同組合講座開催：9月11日●

講演：「賀川豊彦と協同組合」～協同組合の原点と今日の役割を考える～

講師：加山久夫氏(賀川豊彦記念松沢資料館館長、明治学院大学名誉教授)

・ 9月11日(水)、青森県水産ビル7階大会議室において県連主催の「2010年度協同組合講座(第1回)」を開催し、県内の生協、生協連から78名の役職員が参加しました。

・ 井筒県連会長の開会挨拶、日本生協連渉外広報本部市川氏による加山先生のご紹介、DVD「愛と協同」の上映に続き、加山先生の講演に移りました。加山先生は、賀川豊彦の救貧活動から防貧、防貧から協同組合運動に至るまでの活動を紹介しながら、最後に「今、賀川から学ぶこと」を示されました。参加者は、現在につながる組織の設立や思想の実現に向けて歩み続けた賀川豊彦の人生を学び、彼の思想を再確認しつつ今後の生協運動に活かしていく思いを再確認しました。

・ 国際的な協同組合運動の課題を指摘したレイドロウ報告から30年。彼が懸念した「信頼」「経営」「思想(運動)」の三つの危機は今も解決しておりません。賀川豊彦、レイドロウ博士等の先達に学び、協同組合の真の姿と役割・重要性を広く浸透させていくことが私たちの課題です。



○理事研修会開催：8月18日○

県連
報告

講演：コープさっぽろの連続理事学習会の取り組み

講師：中島則裕氏(生活協同組合コープさっぽろ常務理事)

・ 8月18日(水)、青森市男女共同参画プラザ(アウガ5F)研修室において県連主催の「2010年度理事研修会」を開催し、県内の生協から56名の役職員が参加しました。

・ 井筒会長の開会挨拶に続き、コープさっぽろ中島常務の講演

「コープさっぽろの連続理事学習会の取り組み」に移りました。

・ 中島氏は、1) 2002年からスタートした組合員理事学習会の推移、2) 2010年度の組合員学習会、3) 「非営利組織のマネジメント手法 (by ドラッカー) のそれぞれを解説しながら、「コープさっぽろにおける組合員活動」を進める上での考え方や今後の進め方について話をされました。参加者はメモを取りながら最後まで熱心に聞き入っていました。昼食を挟み、午後は、グループ討論。「講演を聞いた感想や、自分の生協でやってみたい事」をテーマに話し合い、グループ毎にまとめを発表しました。各グループからは、「目的意識を持って学習会を定期的で開催したい。」「理事は、地域に目を向け、地域の意見をよく聞くこと、人の話をさえぎらないで最後までよく聞くという姿勢を大事にしたい。」「生協の使命を明確にし、働く人が生き生きとして社会的責任を全うすることが重要。」「理事はきちんと学習していくという意識をもつ。」など積極的な発表がありました。





◆認知症サポーター養成講座:青森会場:7月3日◆

・7月3日(土)、青森市文化会館中会議室において「認知症サポーター養成講座」(青森会場)を開催しました。青森地域の各生協やコープくらしのたすけあいの会から80名が参加し、認知症について学びました。

・講座は、井筒会長の開会挨拶、認知症に関する初歩的知識の紹介ビデオ上映の後、テキスト「認知症を学び地域を支えよう」の学習を行いました。

講師の安田先生(青森市キャラバンメイト協議会理事)は、認知症対応の心得や具体的な対応のポイントを分かりやすく、時にはご自分の体験などを盛り込みながら解説され、参加者は、先生の話に熱心に聞いていました。

・学習の後は、青森保健生協による寸劇でした。寸劇は、①スーパー(食べた事をわすれる)②家庭(幻覚)③家庭(物取られ妄想)④家庭(火の不始末)⑤通行(徘徊)の5つのテーマを題材に作られ、出演された組合員さんは、身近な話題を分かりやすく演じていました。

◆認知症サポーター養成講座:弘前会場:7月17日◆

・7月17日(土)、津軽保健生協本部ホールにおいて「認知症サポーター養成講座」(弘前会場)を開催しました。弘前地域の生協やコープくらしのたすけあいの会等から54名が参加し、認知症について学びました。

・講座は、小野寺常務の開会挨拶、認知症に関する初歩的知識の紹介DVD上映の後、テキスト「認知症を学び地域を支えよう」の学習を行いました。講師の安田先生(青森市キャラバンメイト協議会理事)は、認知症対応の心得や具体的な対応のポイントを分かりやすく、時にはご自分の体験や身近な事例を盛り込みながら解説し、参加者は熱心に聞き入っていました。学習の後は、津軽保健生協組合員さんによる朗読劇風寸劇でした。朗読劇は、①スーパー(食べた事をわすれる)②家庭(幻覚)③家庭(物取られ妄想)④家庭(火の不始末)⑤通行(徘徊)の5つのテーマを題材に作られ、出演した組合員さん(5組10名)の、時には津軽弁も交えた迫真の演技は、参加者から拍手喝采を浴びていました。



◆認知症サポーター養成講座:八戸会場:7月21日◆

・7月21日(水)、生活協同組合コープあおもりるいけ店2F研修室において「認知症サポーター養成講座」(八戸会場)を開催しました。八戸地域の生協やコープくらしのたすけあいの会等から52名が参加し、認知症について学びました。内田副会長の開会挨拶の後、講座の進行は講師の「八戸市キャラバンメイト10グループ」へバトンタッチ。まず、テキストとスライドを使用した認知症の学習があり、講師の斎藤さんの分かりやすい解説が印象的でした。

・認知症キャンペーンのビデオ上映の後、最後は「地域住民の力」と題したグループワークでした。参加者6~7人でグループをつくり、漫画に描かれている日常生活の5つの場面設定での『会話』をグループごとに考えるという参加型の取り組みでした。各グループは、周りの状況や登場人物の気持ち(願い、悩み、問題等)に思いを馳せながら考えた『会話』を発表し、講師からお褒めの言葉をいただく事例が沢山ありました。

医療部会学習会:7月23日

7月23日18時より、浪岡「中世の館」で開かれた大学習会に186名が集いました。学習会では、日本生協連医療部会の藤谷恵三事務局長が「医療福祉生協連誕生と医療福祉生協の役割」というテーマで1時間30分に渡って講演をしました。医療福祉生協連合会をなぜ今、つくるのか?という問いに対して、事務局長は①医療・介護の崩壊を食い止める②地域を守るまちづくりのため③医療福祉生協の事業のため、という3つの回答を提示しました。

資本主義経済の仕組みが限界に近づいている中で、暮らしの厳しさ、不安定な雇用状況は今後も続くことが予想されます。日本社会の高齢化が進み、人口は減少していきます。「格差」が更にひろがります。つながりが壊れていきます。一人ひとりがばらばらではとても暮らしていけない社会になってきたのです。こうした中で、儲け一本でない経済システムが必要となっています。協同組合がその新しい社会の仕組みとして期待されているというわけです。医療生協が進めている「いのちの大運動」は社会の変化に対して医療生協の質を変える運動です。

“生協の質を変える‘運動がとても大切と改めて感じた!”



職域生協部会報告:8月27日

1. 日時 2010年8月27日(金)
10:30~14:00
2. 場所 十和田市・上北教育会館
3. 参加 県庁消費生協、八戸市職生協、
十和田市職生協、生協とわだ、
日生協東北支所、県連事務局

<主な内容>

○初夏のコープセールまとめと今後の課題について

- ・日生協東北支所富沢氏より、初夏のコープセールのまとめと課題について報告がありました。***<初夏のセール結果>** 日生協出荷ベース

	供給高(万)	前年比(%)
全体	655	111.3
県庁消費生協	400	115.8
八戸市職員生協	163	127.3
弘南バス	22	65.5
十和田市職員生協	21	88.0
生協とわだ	41	82.9

○「秋のコープ商品統一セール」について

<主な確認事項> ・秋のセール日程: 11月1日(月)~11月12日(金)

○組合員に好評な企画や商品の情報を相互に交流することになりました。

県民・県庁消費生協より「岩木山嶽きみ発送予約」が紹介され十和田市職生協で早速実施を検討することになりました。

*次回は、2011年4月22日(金)または28日(木)、十和田市開催となります。

3生協共済合同キャンペーン研修会開催:9月3日

3生協合同共済キャンペーン（10月1日～31日）開催に向け、9月3日（金）に青森県庁消費生協、青森県民生協、生活協同組合コープあおもりの3生協で合同研修会を開催しました。講師に伊藤良好さん（コープあきた）、辻本美和担当（コープ共済連関西地区推進部）をお迎えし、理事長、専務を含む総勢115名の参加者で、キャンペーンの成功にむけ意思統一しました。全体会の後、「店長のための分科会」と「店舗職員のための分科会」に分かれ、店長は「キャンペーンを成功に導くマネジメントの討議」店舗職員は「1分間研修とロールプレイング」がそれぞれの分科会で行われました。その後、各店舗毎に集まりキャンペーンへ向けた意気込みと決意表明を考えて全店から目標達成へ向けた力強いコメントを発表し終了しました。



会」に分かれ、店長は「キャンペーンを成功に導くマネジメントの討議」店舗職員は「1分間研修とロールプレイング」がそれぞれの分科会で行われました。その後、各店舗毎に集まりキャンペーンへ向けた意気込みと決意表明を考えて全店から目標達成へ向けた力強いコメントを発表し終了しました。

第5回たべる・たいせつ 食育フォーラム

予告

“食を真ん中に出会いの場を広げましょう”

- ◆と き : 2010年10月22日(金)
10時30分～14時30分
- ◆と ころ : 青森市文化会館5階
青森市堤町一丁目4-1
- ◆参加費 : 500円(昼食代、資料代)
- ◆お申込み : 各所属生協にてお申し込み下さい。

【記念講演Ⅰ】

「地元の食べものを活かして、地球を元気に！」



弘前大学農学生命科学部
地域環境工学科准教授
農学博士 藤崎浩幸 氏

【記念講演Ⅱ】

「今こそ、森林を見直そう！」(仮)



東北森林管理局
青森森林管理署
署長 石原 聡 氏

◆予定プログラム◆

- 10:30～10:35 開会
- 10:35～12:10 講演Ⅰ、講演Ⅱ
- 12:10～13:10 昼食休憩・PRタイム
- 13:10～ 出会いと交流の場
(試食・販売もあります)
- 14:30 終了

主催：青森県生活協同組合連合会
共催：特定非営利活動法人青森県消費者協会
後援：青森県
農林水産省東北農政局青森農政事務所

■お問い合わせ：青森県生活協同組合連合会 TEL017-766-1521■

“出会いと交流の場”

(13時10分～14時20分)

今年の企画にご期待下さい！

- <企画・出店予定>
- ・食育クイズ
- ・県産ヒバ材使用製品販売
- ・県産リンゴ販売
- ・県連コープ開発商品試食
- ・県産素材使用の漬物
- ・県産リンゴ加工品
- ・県産鶏肉、豚肉加工品
- ・県産豆腐加工品等の販売

★たすけあいの輪を 地域に広げよう！★

●2010年度たすけあいの会幹事会体制

幹事会	氏名	生協名・役職名
会長	内田 弘志	県生協連副会長、八戸医療生協副理事長
副会長	大塚 由紀子	津軽保健生協福祉部部长
副会長	笹森 敦子	コープあおもり理事
幹事	近村 美美子	青森県民生協常務理事
幹事	加川恵美子	青森県庁消費生協理事
幹事	佐藤 照子	八戸医療生協理事
幹事	佐々木 静江	青森保健生協総代・ボランティア委員
幹事	高橋 高男	たすけあいの会 代表(青森地域)
幹事	田戸岡 幸子	〃 代表(八戸・三沢地域)
幹事	佐々木 礼子	〃 代表(弘前・黒石地域)
幹事	宮本 けい子	〃 代表(むつ・下北地域)
事務局	桜田 とも子	〃 事務局(青森地域)
事務局	中澤 英子	〃 事務局(八戸・三沢地域)
事務局	瓜田 昌子	〃 事務局(弘前・黒石地域)
事務局	樋口 芳子	〃 事務局(むつ・下北地域)
幹事	小野寺 静子	県生協連常務理事
事務局	西田 俊三	県生協連事務局長

●たすけあいデータ

2010年4月～8月累計

	活動件数		活動時間	
	A会員	B会員	C会員	会員計
2010年	1,256			2,481
2009年	1,249			2,155
2010年	184	126	148	458
2009年	174	130	187	491